

平成 17 年度

食品に含まれる化学物質等の健康影響評価に関する情報収集調査

(概要版)

目的

食品安全委員会では、トランス脂肪酸及びアクリルアミドのような食品中に含まれる化学物質について、これまでに得られた基本的な科学的知見等の情報をファクトシートに取りまとめて公表を行うなどして、広く情報を公開してきたところである。しかし、これらの化学物質の情報については、研究が進められているとともに、規制に関する国際的な動きもあることから、更なる情報収集が必要と考えられる。

本調査は、フラン等の食品加工中に合成される化学物質、あるいはクロロプロパノール類等の食品加工技術の発展に伴い合成される化学物質を対象として、毒性、疫学調査、摂取量等の広範にわたる分野の最新の科学情報について、収集、整理することを目的として実施された。